

百花繚乱

震災復興へ願いを込めて

夏の夜空を彩る花火

南あわじ市市民まつり

待ちに待った今年の夏。慶野松原花火大会が7月30日に、福良湾海上花火大会が8月14日に行われました。2つの市民まつりに訪れた観客は約3万人。多くの人たちを魅了し、身も心も熱くさせた一大イベントを写真とともに振り返ります。



盆踊り・大綱曳 福良湾海上花火大会

福良では13日には盆踊りが行われ、色とりどりの衣裳に身を包み、参加者らは華麗な踊りを披露しました。

豊作や豊漁を祈願する伝統行事である大綱曳では、慈眼寺前で太さ15cm、長さ200mの綱を引き合いました。ねじり鉢巻にふんどし姿の若者たちが奮闘。結果、東軍が勝ち3連勝となりました。

花火大会では、なないろ館前でオープニングイベントが開かれ、力強い太鼓や踊りが披露されました。打ち上げ花火が福良湾に豪快な音を響かせながら夜空に大輪の花を描き、お祭りムードは最高潮に達しました。

慶野松原花火大会

白砂青松の景勝地で行われた慶野松原花火大会では、昨年より100発多い3400発の花火が打ち上げられました。同花火大会は旧西淡町時代から続く伝統行事。日没が近づくと、家族連れや観光客、カップルなどが訪れました。

オープニングイベントとして市民音頭や子ども太鼓を皮切りに、ダンスやトランプ・ロビックスなどが披露されました。

打ち上げ花火では、大輪の花が広がると、観客から歓声が沸き起こりました。スターメインなどが次々と打ち上げられ、赤や青の光が夏の夜空を彩りました。